

2012年3月15日(木曜日)

夢と希望を与え 世界に羽ばたく人材を 育む教育を

～福井県独自のサイエンス教育・英語教育～



「学力・体力日本一」を誇る福井の子どもたち。
さらに一人ひとりの個性や可能性を伸ばし、夢や希望、国際社会を舞台に活躍できる人材を育もうと、県では独自のサイエンス教育、英語教育に力を入れています。



母 早いもので小学校も卒業ね。



長男 (小学6年生) うん、中学校がどんなところかワクワクしているよ。



父 福井は「子どもの学力・体力日本一」の県として全国的に有名だからね。授業、課外活動ともに充実しそうだね。



長女 (高校1年生) 私も高校生になって1年。友達も科学の活動に打ち込んだり、英会話の勉強に励んだり、みんな頑張っているわよ。



父 「サイエンス」と「英語」。どちらも、これからの国際社会で活躍するためにとても大切な分野だね。



長男 (小学6年生) 小学校の理科の授業は、実験や観察が楽しかったから、中学校でもいろいろと勉強していきたいな。



母 そういえば、この前ノーベル化学賞の根岸博士が嶺南の高校生を前に講演されたそうね。



おじちゃん ノーベル物理学賞を受賞された南部陽一郎博士をはじめ、福井県からは偉大な科学者が数多く生まれてきたんじゃないか。これからも同じような人材がどんどん育ってほしいのよ。



長女 (高校1年生) この春休みには、高校生100人がアメリカで語学研修を体験しているのよ。昨日、先輩が発したわ。



父 県が「コミュニケーション能力を高める英語教育」の一環として、今年から始めたプログラムだね。



母 本場で英語を学べば、実際の生活の場で使える英語力も磨かれるでしょうね。外国の文化も学べるし、こうした体験はその後の人生にきっと大きく活かせるんじゃないかしら。



長男 (小学6年生) 中学校では英語も勉強して、将来、外国人と会話ができるようになりたいな！



長女 (高校1年生) 私も来年の海外研修への参加を目指して、ラジオ講座なんか活用しながら英語力をしっかり高めるわ！

頼もしいね。自分の力で夢や希望を実現できる



父

県が進める「サイエンス教育」の一環だね。一流の科学者の話を聞いたりすることで、子どもたちの理科や数学への興味がさらに高まるだろうね。



人間に成長してくれるよう、みんなで期待しているよ。

身近な体験で可能性を伸ばす サイエンス教育を推進

学校や地域といった身近な場所で理科や算数・数学などの科学(サイエンス)に親しむことで、子どもたちに興味や関心を高めてもらい、世界の科学技術の発展に貢献できる人材に育ててもらおうと、県では独自の「サイエンス教育」を推進しています。

科学に親しむ環境づくりを促進

小学校では、希望する学校に理科授業の観察や実験を補助する理科支援員を配置。授業内容を充実させ、子どもの理解力を高めています。

また、学校や公民館などへ教員OBや大学教員など専門的な知識を持つ「サイエンス博士」を派遣。小中学生を対象に科学実験などを行い、実際に見て、触れる機会を充実し、サイエンスに慣れ親しむ環境づくりを進めています。

コンテストへの挑戦を応援

サイエンス分野での自主的な活動を促し、さらに好奇心や能力を高めてもらおうと、県では毎年、中高生が理科や数学の実験力、応用力を競う「ふくい理数グランプリ」を開催しています。

また、直前対策の実施や参加費用の助成など、全国規模の科学コンテストへの参加を目指す生徒や学校を支援。サイエンス能力はもちろん、挑戦しようとする意識の向上につなげています。



ふくい理数グランプリ

第二の南部陽一郎博士を目指せ

福井出身のノーベル物理学賞受賞者・南部陽一郎博士の業績をたたえ、博士と同じように世界最先端の科学技術の発展に貢献できる人材を目指してもらおうと、県では独自に「南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞」を設けています。

2月に開催した授賞式では、理科、数学分野でのコンテスト等で優秀な成績を収めた中高生6名・1グループを表彰しました。



今年で3回目となった授賞式

中学生の部

- 最優秀賞** 福井市社中学校 小濱 真宏さん(2年)
(研究テーマ等「植物からバイオディーゼルのつくる」)
- 優秀賞** 福井大学附属中学校 三枝 菜由さん(3年)
越前市南越中学校 三好 杏香さん(2年)
福井大学附属中学校 澤田 大輝さん(3年)

高校生の部

- 最優秀賞** 藤島高校 奥村 瞭平さん(3年)
(研究テーマ等「第7回全国物理コンテスト・物理チャレンジ2011金賞受賞」)
- 優秀賞** 丸岡高校 林 拓馬さん(2年)
 荻田 亮佑さん(2年)
 中嶋 友朗さん(2年)
 藤島高校 鈴木 拓実さん(3年)

一流の科学に触れる機会を提供

世界第一線の科学に直接触れる体験を通じて、子どもたちの興味や関心、能力をさらに高める活動にも、県では力を入れています。

この一環として、今年度は県内の高校生を対象に、「ふくいサイエンストーク」、「ふくいサイエンスフェスタ」を初めて開催しました。

「ふくいサイエンストーク」にノーベル賞・根岸博士が来県

2月には若狭高校で、ノーベル化学賞を受賞した根岸英一(ねぎしえいいち)博士(米パデュー大学特別教授)を招き、「ふくいサイエンストーク」を開催。

根岸博士は、嶺南の高校生ら約1100名を前にした講演で、夢を持って挑戦することや海外に出て見聞を広めることの大切さを強調しました。

また、ノーベル賞の受賞理由となった「クロスカップリング反応」を体験する実験教室も実施。参加した生徒は、「難しい内容でしたが、ノーベル賞受賞者の指導を受けることができ、貴重な体験でした」、「これからも科学の勉強を頑張ろうという意識が高まりました」などと、充実した時間を過ごした様子でした。



最先端の科学を体感した実験教室

女性化学賞・相馬博士が女子高校生を前に講演

理工系大学への進学率が低い福井の女子高校生に、数学や理科への興味を高めてもらおうと、昨年12月には県生活学習館で「ふくいサイエンストーク for girls(フォー・ガールズ)」も開催。世界で23名だけに贈られた「女性化学賞」に国内で唯一選ばれた相馬芳枝(そうまよしえ)博士(神戸大学特別顧問)や、県内の大学、企業の女性研究者を招きました。

講演で相馬博士は、化学者を目指したいきさつなどを紹介したほか、「興味があれば性別にとらわれず大きな志を持って前に進んでほしい」と、参加した女子高校生たちにメッセージを送りました。



相馬博士が女子高校生にエール

「ふくいサイエンスフェスタ」を開催

このほか、2月にアオッサで「ふくいサイエンスフェスタ」も開催。国内外で優れた研究を進める科学者3名が、それぞれの研究内容や科学の魅力について紹介しました。

また、高校生と科学者との意見交換会も実施。生徒は、困難にぶつかったときの対処法や、普段読んでいる本について質問するなど、将来の科学者としての生活に夢をふくらませました。



高校生320名が参加した「ふくいサイエンスフェスタ」

コミュニケーションを重視した 英語教育を展開

社会のグローバル化が進み、小学校での外国語活動も始まるなど、特に英語を「聞く」、「話す」力の向上が求められています。そこで県では、コミュニケーション能力の育成を重視した、独自の英語教育に力を入れています。

ALTを全国一手厚く配置

子どもたちがネイティブ・スピーカー(母国語として話す人)による「生の英語」に触れる機会を増やそうと、県では中学校や高校に、全国で最も手厚くALT(外国語指導助手)を配置。授業、課外活動を通じて、生徒が英語や異文化を学ぶ上での重要な役割を果たしています。

教員の授業力アップを

中学校、高校の英語教員の授業力を高めるため、英語の発音や聞き取りの面で間違いやすいポイントなどをまとめた、本県独自の音声指導教材を新たに作成しました。

また、毎年、高校の英語教員を対象に「集中セミナー」を開催。英語教育の専門家による指導のもと、ディベート(討論)の指導法や分かりやすい授業を行う手法について学ぶなど、教員の指導力向上につなげています。



英語教員集中セミナー

「生の英語」に触れる課外活動を充実

今年度からすべての県立高校では、始業前や昼休み、放課後など課外活動で、生の英語に触れる「イングリッシュ・シャワー」をスタート。

ALTと一緒に昼食をとりながら英会話を楽しんだり、校内放送で外国の映画や音楽を流すなど、日常的に英語を「浴びる(シャワー)」こと

で、生徒のコミュニケーション能力向上につなげています。



ALTとクッキングを楽しんだ
福井商業高校の「土曜スクール」

高校生を「英語漬け」にする集中プログラム

高校生が集中的に英語の特訓を受ける活動も展開しています。

毎年、夏休みを活用して、友達やALTと英語だけの合宿生活を送る「高校生英語キャンプ」を開催。昨年8月に4か所で開いたキャンプでは、100名がゲームやディベートなどを楽しみながら、実践的な英会話力を高めました。

また、今年は初めて、高校生100名が春休みを利用してアメリカに短期留学する「海外語学研修」を実施。3月14日から約2週間、ニュージャージー州などでホームステイをしながら、現地の英語教員による集中特訓、小中学校での文化交流などを行い、国際社会に通用する語学力と知識を身に付けます。

出発に先立つ結団式では、生徒代表が「英語力の向上はもちろん、現地の文化を学んで来たいです」と、流ちょうな英語で決意を表明しました。



高校生英語キャンプ



海外語学研修の結団式

 **BACK**